

# おい町未来創生戦略

## 事業評価シート

整理番号	2-①	課名	農林水産課
------	-----	----	-------

戦略分類	2. 若者仕事		
戦略事業名	①「お〜い★さかな君」発掘・育成事業		
予算事業名	「お〜い★さかな君」発掘・育成事業		
令和元年度実績額	142,525円	令和2年度予算額(6月補正後)	1,129,000円

	H27	H28	H29
事業の概要(実績)	御食国・若狭を支える大島の漁業の一層の活性化に向けて、漁業に従事することを希望する男性(=「お〜い★さかな君」)を全国的に募集し、自立に向けた支援を行う。	漁業従事者への支援、新規就漁者の募集 ①ふくい水産カレッジ入校者の費用負担 ②水産関係の地域おこし協力隊や移住者募集 ③ふくい水産カレッジ受講者への支援(受講に係る交通費補助)  (実績) ふくい水産カレッジ3名入校 ①2名の受講費用負担(このほか1名は国OJT制度利用) ②3名分の交通費補助(交付先:大島漁協)	漁業従事者への支援、新規就漁者の募集 ①ふくい水産カレッジ入校者の費用負担 ②水産関係の地域おこし協力隊や移住者募集 ③ふくい水産カレッジ受講者への支援(受講に係る交通費補助)  (実績) ふくい水産カレッジ2名入校 ①2名の受講費用負担 ②2名分の交通費補助(交付先:大島漁協)  このほか、県外出身者(富山県)1名が新規に就漁開始(H30.2月) ※就漁者住宅確保支援あり また、H30.4月から新たに地域おこし協力隊1名が着任し、大島漁協を拠点に活動

	H30	R元
事業の概要(実績)	漁業従事者への支援、新規就漁者の募集 ①ふくい水産カレッジ入校者の費用負担 ②水産関係の地域おこし協力隊や移住者募集 ③ふくい水産カレッジ受講者への支援(受講に係る交通費補助)  (実績) ふくい水産カレッジ1名入校 ①1名の受講費用負担 ②1名分の交通費補助(交付先:大島漁協) 県外出身者(富山県)1名が新規に就漁開始(H30.2月) H30.4月から新たに地域おこし協力隊1名着任し、大島漁協を拠点に活動	漁業従事者への支援、新規就漁者の募集 ①ふくい水産カレッジ入校者の費用負担 ②水産関係の地域おこし協力隊や移住者募集 ③ふくい水産カレッジ受講者への支援(受講に係る交通費補助)  (実績) ①1名(R1.4~5月分)の受講費用負担 ②1名分(R1.4~5月分)の交通費補助(交付先:大島漁協) 地域おこし協力隊1名(H30年度から継続)



就漁支援フェア(全体説明会)



就漁支援フェア(おおい町個別相談ブース)

**評価(Check)**

成果を測る指標(KPI・数値目標)	新規漁業従事者数		⇒	現 状		KPI達成率(%)
	基準値(平成26年度)	—		令和元年度末	6人	
	目標値(令和元年度末)	累計 10人				

① 数値目標達成状況		達成できなかった
達成状況の要因分析、今後の方針		
<p>○達成状況の要因分析          漁業就業支援フェアなどの就漁への意識が高い参加者が集まる催事に複数回参加し、新規就漁者の獲得に努めてきた。          新規就漁者の内訳：町内出身者5名、県外出身者1名</p> <p>○今後の方針          ・新規就漁者のためのふくい水産カレッジ入校への支援や、地域おこし協力隊の募集、就漁フェアなどを通じて引き続き人材確保に努める。</p>		
② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)		
ノウハウの内容	<p>①就漁希望者募集の際の町のPR方法と内容検討(本町での就漁のメリット等)          ②就漁希望者のニーズの把握</p>	
ノウハウの活用状況・活用方針	<p>相談体制の充実(漁協との連携による有用な情報提供、就漁希望者と受入側との橋渡し役となりマッチングを進める)</p>	
③ 外部有識者による意見の事業への反映		反映している
反映した・反映を予定している場合 (どのように反映したか・反映するか)		反映できない場合 (その理由と、今後の方針)
<p>①取組          平成30年4月から新たに地域おこし協力隊が1名着任。面談を定期的に行いサポートを行った。(大島漁業協同組合に勤務)</p> <p>②取組          カキの養殖事業を展開し今後の収入確保につなげる計画である。</p>		
④ 事業成果		
<p>令和元年度における新たな新規就漁者はなく、数値目標は達成できなかったが、就漁支援フェアなどへ積極的に参加し情報収集を行った。</p>		
内部評価結果		
<p>・KPIについては、数値目標を達成することができなかった。          ・就漁希望者と受入事業者のギャップを埋める取り組みが必要である。また、ふくい水産カレッジ入校への支援や就漁支援フェアなどを通して引き続き人材確保に努める。</p>		

#### 外部評価の結果

##### 【各事業共通事項】

あらゆる媒体を活用して、積極的に町内外に対し情報発信し、町民の方々の理解と協力を図るとともに、より一層の周知に努め、継続的な来訪や移住・定住につながるしかけづくりに取り組まれない。

整理番号	2-②	課名	農林水産課
------	-----	----	-------

戦略分類	2. 若者仕事		
戦略事業名	② 1次産業スタート支援事業		
予算事業名	一次産業スタート支援事業		
令和元年度実績額	3,962,370円	令和2年度予算額(6月補正後)	6,845,000円

	H27	H28	H29
事業の概要(実績)	新規就業者や移住者が、自立した農林水産業を営めるよう、研修への支援や住宅確保に係る支援等を行う。加えて、耕作放棄地等の管理・仲介を行い、新規就業者への橋渡しを行う。	-	①一次産業活動拠点施設の整備(旧大島公民館改修)  (実績) ①本体施設改修(H28繰越) 49,416,234円 備品等購入(H28繰越) 2,972,160円 空調設備改修(H29) 14,524,252円

	H30	R元
事業の概要(実績)	①一次産業活動拠点施設の整備(旧大島公民館改修) (実績) 外壁等改修 19,310,400円 備品購入(電化製品) 961,200円 " (ベット等) 4,298,400円 " (寝具等) 389,161円 ②一次産業活動拠点施設の管理 (実績) 日常管理 1,468,800円 ③一次産業体験事業 (実績) 10人(66泊) 462,000円	①一次産業活動拠点施設の管理 (実績) 日常管理 1,778,880円 消防設備点検 31,860円  ②一次産業体験事業 (実績) 4人(7日間) 196,000円  ③就農総合支援事業補助 (実績) 新規就農者住宅確保支援事業補助金(1人) 90,000円 新規就農者研修支援事業補助金(1人) 360,000円



1次産業活動拠点施設(外観)



利用者ミーティングの様子

**評価(Check)**

成果を測る指標(KPI・数値目標)	農林水産業新規就業者数		⇒	現 状		KPI達成率(%)	
	基準値(平成26年度)	3人		令和元年度末	5人		50.0
	目標値(令和元年度末)	累計 10人					

① 数値目標達成状況		達成できなかった
達成状況の要因分析、今後の方針		
<p>○達成状況の要因分析          新たな一次産業体験者の受け入れや大学等へのPR活動を行ってきたが、就業希望者と受入先とのマッチングを行うことができなかった。</p> <p>○今後の方針          ・就業希望者と受入先とのマッチングを進める。          ・本事業による就業者の確保対策だけではなく、町の関係人口増大のための取組として、他事業との連携を図りながら実施する必要がある。</p>		
② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)		
ノウハウの内容	一次産業活動拠点施設を中心として、そこから一次産業体験をする圃場までの交通手段の確保など、新たな課題や改善点なども出ている。	
ノウハウの活用状況・活用方針	拠点施設を中心として、本町で活動するために必要な交通手段の確保やニーズへの対応等、就業に繋がる幅広い支援をさらに検討する必要がある。	
③ 外部有識者による意見の事業への反映		反映している
反映した・反映を予定している場合 (どのように反映したか・反映するか)	反映できない場合 (その理由と、今後の方針)	
関西圏の農林水産関係の学部を持つ大学を訪問したり、地元の高校へPR活動を行った。		
④ 事業成果		
一次産業活動拠点施設の整備が完了し、平成30年度から本格的な運用を始め、県内外からの幅広い利用者の受け入れが可能となり、新たな一次産業体験者の受入や関西圏の大学へのPR活動を行ってきたが、利用者が思うように伸びず目標達成ができなかった。		
内部評価結果		
<p>・KPIについては、数値目標を達成することができなかった。          ・施設の利用拡大に向けた方策を検討する必要がある。また、町の関係人口の創出・拡大のため、他事業と連携を図りながら、引き続き実施していく必要がある。</p>		

#### 外部評価の結果

##### 【各事業共通事項】

あらゆる媒体を活用して、積極的に町内外に対し情報発信し、町民の方々の理解と協力を図るとともに、より一層の周知に努め、継続的な来訪や移住・定住につながるしかけづくりに取り組まれない。

整理番号	2-③	課名	商工観光課
------	-----	----	-------

戦略分類	2. 若者仕事		
戦略事業名	③「儲ける」1次産業支援事業		
予算事業名	「儲ける」1次産業支援事業		
令和元年度実績額	1,422,899円	令和2年度予算額(6月補正後)	2,267,000円

	H27	H28	H29
事業の概要(実績)	農林水産業における経営基盤の整備及び強化を図るための支援を行うとともに、加工品開発やブランド化による付加価値の高い商品開発を推進する。加えて、販売ルートの拡大などにより、効率的で自立した、第1次産業の経営体を育成する。	①漁業近代化施設等整備事業により、地元漁協が行うプロトン凍結機の導入を支援(H27繰越) ②ブランド化研修会の開催(商品開発指導等) ③販売促進戦略調査の実施(マーケティング調査、アマダイの商品化)  (実績) ①高鮮度維持凍結機1台導入(道の駅「うみんぴあ大飯」設置) ②実施:平成28年11月22日 受講者21名(特産加工グループ等の生産者) ③実施1:平成28年11月21日 内容:アカアマダイ(若狭ぐじ)の販路開拓・販売促進に向けた現地調査及び指導 実施2:平成29年1月17日 内容:アカアマダイ(若狭ぐじ)の商品力・販売力に関する踏査及び指導(16名参加)	①おいブランド認証制度の構築  (実績) ①第1回委員会 実施:平成29年8月10日 内容:「おいブランド認証・育成支援推進委員会」発足、今後の進め方確認 <H29.9月~10月に、おいブランド認証・育成支援推進制度に関する調査実施> 第2回委員会 実施:平成29年11月18日 内容:ブランド認証制度、育成支援制度、ブランド認証マーク等の検討 <H30.1月に、おいブランド認証マーク制作に係るプロポーザル実施> 第3回委員会 実施:平成30年2月23日 内容:おいブランド認証マークの決定、ブランド認証の基準の決定、認証事業のPRチラシ作成検討
	H30	R元	

- ①おいブランド事業推進
- ②特産品のPR

〈実績〉

- ①  
推進委員会:平成30年6月18日、8月6日、11月28日  
育成支援プログラム:平成30年8月7日 内容:「マーケティングセミナー」  
研修会(視察、販売者との意見交換):平成30年2月13,14日  
スーパーマーケットトレードショー(幕張メッセ)  
ふくい青山291  
日本橋三越  
日本百貨店
- ②  
町内中学生レシピコンテスト(応募数100レシピ)  
町内小売店においてレシピコンテスト優秀作品販売会(2回)  
みなとオアシスSea級グルメ全国大会参加  
御食国・和食の祭典・in京都参加  
道の駅EXPO大阪2019参加

- ①おいブランド事業推進
- ②特産品のPR

〈実績〉

- ①  
研修会開催(ハサップの認証について)
- ②  
神楽坂商店街青空フェスタ出店(東京都)  
山の恵みマッチング2019参加(石川県)  
京都中央卸売市場への営業(京都府)  
みなとオアシスSea級グルメ全国大会参加(新潟県)  
御食国和食の祭典参加(小浜市)  
ジャパンフィッシャーメンズフェスティバル2019参加(東京都)  
阪急百貨店出店(大阪府)  
シーフードショー大阪参加(大阪府)  
アグリフードEXPO大阪2020参加(大阪府)  
道の駅EXPO2020(大阪府)…中止(新型コロナウイルス)



御食国和食の祭典



阪急百貨店出店

評価(Check)

成果を測る指標(KPI・数値目標)	新商品開発数		⇒	現 状		KPI達成率(%)
	基準値(平成26年度)	—		令和元年度末	10件	
	目標値(令和元年度末)	累計 5件				200.0

① 数値目標達成状況	達成
達成状況の要因分析、今後の方針	
<p>町の補助事業である「農林水産物加工開発支援事業補助金」を活用していただくことにより、大島漁業協同組合や町内加工品製造販売団体を中心として多くの新商品を開発することができ、結果としてKPIの目標値を大きく上回ることもなった。</p> <p>今後においては、市場ニーズに合った特産品の高付加価値化を進めるとともに、主に町外に向けた販売促進活動を継続して実施していく。</p>	

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)	
ノウハウの内容	<p>おいブランド認証品の生産規模や価格、流通方法などを定めるための市場調査が必要であり、併せて販路を拡大させていくための販売促進活動も実施することが重要である。</p> <p>また、ブランド認証制度活用による事業効果をどう発揮させていくかは、生産者や事業者等の理解と協力が必須となるため、関係者の意欲を高めていくような取組を進めながら、高付加価値化、ブランド化を進めていく必要がある。</p>
ノウハウの活用状況・活用方針	<p>第1ステップとして、現状把握と市場調査を行い、次の段階で問題解決のための課題洗い出しと今後、取り組む戦略を構築する。</p>

③ 外部有識者による意見の事業への反映		反映を予定している
反映した・反映を予定している場合 (どのように反映したか・反映するか)	反映できない場合 (その理由と、今後の方針)	
<p>若者の就労や雇用について改善を図るため、町内の地域や学校に向けて、町の取り組みなどを積極的に周知するように努める。</p> <p>また、町外・県外への町の特産品等の発信については、地元の中学生など若者参加型の取り組みも継続するよう併せて努める。</p>		

④ 事業成果
<p>・おいブランドとして認定した4品目(梅、じねんじょ、しいたけ、若狭甘鯛)をまずは町民へ浸透させるため、中学生によるレシピコンテストを実施し、町民への周知を図ることができた。</p> <p>・平成30年度末までの新商品開発7商品(①若狭甘鯛の刺身盛り、②福井サーモンの刺身盛り、③飲む梅ゼリー、④野菜入りジャコ天、⑤若狭甘鯛の押し寿司、⑥福井サーモンの生ハム、⑦福井サーモンのユッケ)</p> <p>・令和元年度における新商品の開発3商品(①さしす梅、②乾燥わかめ、③マガキ)</p>

内部評価結果
<p>・KPIについては、数値目標を達成することができた。</p> <p>・今後、生産者や事業者等と連携し、開発された商品のブランド化、高付加価値化を進めるとともに、町外への販路拡大に向けた取り組みを継続して実施していく必要がある。</p>

<b>外部評価の結果</b>
<p>一次産業の収益性が低いというイメージを払拭する取り組みになることも期待したい。</p> <p><b>【各事業共通事項】</b></p> <p>あらゆる媒体を活用して、積極的に町内外に対し情報発信し、町民の方々の理解と協力を図るとともに、より一層の周知に努め、継続的な来訪や移住・定住につながるしかけづくりに取り組まれない。</p>

整理番号	2-④	課名	農林水産課
------	-----	----	-------

戦略分類	2. 若者仕事		
戦略事業名	④ まるごとジビエ特産事業		
予算事業名	まるごとジビエ特産事業		
令和元年度実績額	68,987円	令和2年度予算額(6月補正後)	-

	H27	H28	H29
事業の概要(実績)	<p>獣肉を得るための狩猟ハンターへの支援から、食材として活用し、町の特産品としてPRするための支援まで、一体的に取り組む。また、ジビエ料理・加工品の開発・研究に取り組むにあたっては、町の料理人等と連携することで、地域の特性を活かしたものとなるよう努める。</p>	<p>①解体施設等の先進地視察調査 ②獣解体処理技術習得研修会(止め刺し) ③ジビエ料理開発用の獣肉提供</p> <p>(実績) ①視察先: 京都府南丹市美山町(平成29年3月22日) 猟友会会員等18名参加 ②実施: 平成29年3月15日 12名受講 ③7事業所に提供し、3商品開発</p>	<p>①ジビエ料理開発用の獣肉提供</p> <p>(実績) ①7事業所に提供</p>

	H30	R元
事業の概要(実績)	<p>①解体施設等の先進地視察及び解体技術講習会 ②ジビエ料理開発用の獣肉提供(3事業所)</p> <p>(実績) ①視察先: 美浜町新庄「BON1029」 高浜町坂田「若狭高浜いのしかい」 ②実施: 平成31年3月18日 15名参加 ③3事業所に獣肉を提供し、新たに3つの料理レシピ開発(シカカツバーガー、シカ胡麻ソテー、シカ肉筋膜と筋のオリーブオイル炒め)</p>	<p>①ジビエ料理開発用の獣肉提供(2事業者) ②ジビエ安全利用に関する研修会企画 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>(実績) 2つの事業所に獣肉を提供。新たに4つの料理レシピ開発(野鹿バーガー、鹿もも肉のコンビーフ、鹿ロース肉ハム、鹿ロース肉のバルデ)</p>



鹿ロース肉ハム



野鹿バーガー

**評価(Check)**

成果を測る指標(KPI・数値目標)	ジビエ料理開発件数		⇒	現 状		KPI達成率(%)
	基準値(平成26年度)	—		令和元年度末	10件	
	目標値(令和元年度末)	累計 5件				200.0



<b>① 数値目標達成状況</b>	<b>達成</b>
達成状況の要因分析、今後の方針	
<p>○達成状況の要因分析 町内料理店などへ獣肉を提供することにより、一定の目標は達成することができたが、ジビエ料理メニューの提供は一部の料理店のみとなった。</p> <p>○今後の方針 引き続き、町内の料理店等と連携を図り、料理メニューの利活用について協議していく必要がある。 ※令和2年度～ 農作物鳥獣被害対策事業にジビエ振興メニューを盛り込み事業継続</p>	

<b>② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ（成果又は反省から得られた情報や知識）</b>	
ノウハウの内容	<p>・町内料理店等にジビエ料理メニューの開発を促したが、積極的にジビエを振興していきたいと考える事業者が少なかった。</p> <p>・おおい町名田庄の野鹿の滝にちなみ、シカ肉を利用した新商品「野鹿(のか)バーガー」が開発された。ジビエ振興を、地域振興と結び付けて取り組む必要を感じた。</p>
ノウハウの活用状況・活用方針	<p>ジビエ振興を図るためには、料理人や捕獲従事者等の連携が必要不可欠であり、施設整備を検討する前に、関係者を対象とした研修会等を継続し、町のジビエに対する気運の盛り上げを図る必要がある。</p>

<b>③ 外部有識者による意見の事業への反映</b>		反映を予定している
反映した・反映を予定している場合 (どのように反映したか・反映するか)	反映できない場合 (その理由と、今後の方針)	
<p>おおい町だけでジビエのブランド化を進めるのではなく、広域的なブランド化を進めるため、嶺南地域有害鳥獣対策協議会と連携し、ジビエ提供店等を掲載した「嶺南ジビエガイド」(パンフレット)を作成しジビエ振興を図った。</p>		

<b>④ 事業成果</b>
<p>獣肉を町内の料理店等に提供することにより、ジビエ料理メニュー開発という目標は達成することができたが、料理の提供は一部の料理店のみとなった。</p> <p>平成29年度末までの料理メニュー開発3件(鹿ヒレ肉の朴葉味噌風味カツ、鹿ゴロゴロミンチカツ、ジビエコロッケ)</p> <p>平成30年度における料理メニュー開発3件(シカカツバーガー、シカ胡麻ソテー、シカ肉筋膜と筋のオリーブオイル炒め)</p> <p>令和元年度における料理メニュー開発4件(野鹿バーガー、鹿もも肉のコンビーフ、鹿ロース肉ハム、鹿ロース肉のバルデ)</p>

<b>内部評価結果</b>
<p>・KPIについては、数値目標を達成することができた。</p> <p>・ジビエのブランド化を推進するため、引き続き広域的な連携及び町内でのジビエに対する機運の盛り上げに取り組む必要がある。</p>

<b>外部評価の結果</b>
<p><b>【各事業共通事項】</b> あらゆる媒体を活用して、積極的に町内外に対し情報発信し、町民の方々の理解と協力を図るとともに、より一層の周知に努め、継続的な来訪や移住・定住につながるしかけづくりに取り組まれない。</p>

整理番号	2-⑤	課名	商工観光課
------	-----	----	-------

戦略分類	2. 若者仕事		
戦略事業名	⑤ IJUターン起業促進支援事業		
予算事業名	IJUターン等起業促進支援事業		
令和元年度実績額	16,232,000円	令和2年度予算額(6月補正後)	15,022,000円

事業の概要(実績)	H27	H28	H29
	—	<p>町の特定創業支援事業計画に沿って、新規創業及び二次創業推奨することにより、商工業の活性化を図り、減少傾向を辿る町内事業者数の確保を図るとともに、I・J・Uターンの契機を創出する。</p> <p>町内において創業を希望する方に対し、創業時の負担を軽減するため、初期投資等に係る費用の2/3(上限5,000千円)を助成する。</p> <p>・二次創業 2件(コインランドリー、焼肉店) 実績額 10,000千円</p>	<p>町の特定創業支援事業計画に沿って、新規創業及び二次創業推奨することにより、商工業の活性化を図り、減少傾向を辿る町内事業者数の確保を図るとともに、I・J・Uターンの契機を創出する。</p> <p>町内において創業を希望する方に対し、創業時の負担を軽減するため、初期投資等に係る費用の2/3(上限5,000千円)を助成する。</p> <p>・新規創業 1件(観光農園) ・二次創業 2件(広告代理店、レストラン) 実績額 13,500千円</p>
	H30	R元	
	<p>町の特定創業支援事業計画に沿って、新規創業及び二次創業推奨することにより、商工業の活性化を図り、減少傾向を辿る町内事業者数の確保を図るとともに、I・J・Uターンの契機を創出する。</p> <p>町内において創業を希望する方に対し、創業時の負担を軽減するため、初期投資等に係る費用の2/3(上限5,000千円)を助成する。</p> <p>・新規創業 2件(司法書士、食品加工) ・二次創業 1件(飲食店) 実績額 14,139千円</p>	<p>町の特定創業支援事業計画に沿って、新規創業及び二次創業推奨することにより、商工業の活性化を図り、減少傾向を辿る町内事業者数の確保を図るとともに、I・J・Uターンの契機を創出する。</p> <p>町内において創業を希望する方に対し、創業時の負担を軽減するため、初期投資等に係る費用の2/3(上限5,000千円)を助成する。</p> <p>・新規創業 3件(アウトドアガイド、管工事、漬物惣菜製造小売り) ・二次創業 1件(イベント企画) 実績額 16,232千円</p>	
			
	アウトドアガイド	管工事	イベント企画

評価(Check)						
成果を測る指標(KPI・数値目標)	当該事業を利用した起業件数		⇒	現 状		KPI達成率(%)
	基準値(平成26年度)	—		令和元年度末	12件	
	目標値(令和元年度末)	累計 10件				120.0

① 数値目標達成状況	達成
達成状況の要因分析、今後の方針	
<p>令和元年度において4件の起業件数があり、目標値を達成することができた。</p> <p>今後においては、既存のおおい町IJUターン等起業促進支援事業補助金交付要綱が、令和2年3月31日をもって失効するため、起業された事業の継続性がより確保されるよう補助制度内容を見直したうえで、起業促進に関する補助制度を継続する。</p>	

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)	
ノウハウの内容	<p>実績として、全起業者のうち半数の6件が二次創業者であったため、町内の事業者数を1件でも多く増やすという観点からは、事業対象者を新規創業者に限定していく必要があると考えられる。</p> <p>また、起業後の経営状況等については、報告する必要がなかったことから、事業の効果を把握できていなかったため、事業開始から数年間は報告を求め、その結果を今後の施策に生かしていく必要があると考えられる。</p>
ノウハウの活用状況・活用方針	<p>起業者にとってさらに活用しやすい制度とするため、令和2年度において「おおい町起業促進支援事業補助金」として、様々な課題を解決できるよう制度のリニューアルを行った。</p>

③ 外部有識者による意見の事業への反映		反映している
反映した・反映を予定している場合 (どのように反映したか・反映するか)	反映できない場合 (その理由と、今後の方針)	
<p>令和元年度においては、起業者の起業内容を生かした観光イベントや社会教育イベントを、町との協働により開催することができたため、今後においても様々な機会を通じた連携が可能であると考えられる。</p>		

④ 事業成果
<p>令和元年度において4件の起業があったため、KPIを達成することができた。</p> <p>また、当該補助事業の採択に必要な「創業支援セミナー」の受講や相談件数もコンスタントに確保されており、今後においても特に新規創業についての上積みが見込める。</p> <p>なお、補助事業者の追跡調査については、商工会において定期的な事業ヒアリングにて、必要な助言等を行い、継続的に操業できる環境を支援している。</p>

内部評価結果
<p>・KPIについては、数値目標を達成することができた。</p> <p>・当該事業は雇用創出の観点において有効であり、引き続き起業支援を実施するとともに、継続的に操業できる環境を支援し、町内の商工業の活性化に取り組んでいく。</p>

外部評価の結果
<p>二次創業への支援についても柔軟に対応されたい。</p> <p>地域金融機関とも連携し事業推進に努められたい。</p> <p><b>【各事業共通事項】</b></p> <p>あらゆる媒体を活用して、積極的に町内外に対し情報発信し、町民の方々の理解と協力を図るとともに、より一層の周知に努め、継続的な来訪や移住・定住につながるしかけづくりに取り組まされたい。</p>

整理番号	2-⑤	課名	しごと創生室
------	-----	----	--------

戦略分類	2. 若者仕事		
戦略事業名	⑤ IJUターン起業促進支援事業		
予算事業名	チャレンジショップ整備事業		
令和元年度実績額	21,927,000円	令和2年度予算額(6月補正後)	21,287,000円

事業の概要(実績)	H27	H28	H29
			チャレンジショップ運営計画策定 6,480,000円
	H30	R元	
	チャレンジショップ等デザインガイドライン策定 委託料8,600,000円	プロポーザル審査会委員報償 200,000円 チャレンジショップ基本・実施設計業務 委託料29,297,000円 (※うちR2年度へ繰越し 21,287,000円)  地質・測量調査委託料13,717,000円	
チャレンジショップ パース図		内部イメージ	
			

評価(Check)						
成果を測る指標 (KPI・ 数値 目標)	当該事業を利用した起業件数		⇒	現 状		KPI達成率 (%)
	基準値 (平成26年度)	—		令和元年度末	12件	
	目標値 (令和元年度末)	累計 10件				120.0

<b>① 数値目標達成状況</b>	<b>達成</b>
<p>達成状況の要因分析、今後の方針</p> <p>起業・創業の裾野を広げるべく、チャレンジショップに関する事業の充実・強化を図ることで、おおい町の新たなアドバンテージをアピールすることができると思う。</p>	

<b>② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)</b>	
<p>ノウハウの内容</p>	<p>当該事業は町の商工・観光振興施策の種となる新たな産業の育成に資するものであり、商工会や観光協会等関係機関と十分な連携を取りながら進める必要がある。</p>
<p>ノウハウの活用状況・活用方針</p>	<p>設計事業者を決定するにあたり、公募型プロポーザル方式を採用し、審査委員会に商工会から委員派遣を受け等、行政だけでなく関係機関と連携を取りながら進めてきた。</p>

<b>③ 外部有識者による意見の事業への反映</b>		<b>反映している</b>
<p>反映した・反映を予定している場合 (どのように反映したか・反映するか)</p>	<p>反映できない場合 (その理由と、今後の方針)</p>	
<p>チャレンジショップ整備においては、隣接する商工会館テナント棟との連携が不可欠なため、基本及び実施設計において、商工会と調整を行いながら事業を進めている。</p>	-	

<b>④ 事業成果</b>
<p>R元年度において、基本・実施設計業務を公募型プロポーザル方式により設計事業者を選定し、業務を実施してきた。しかしながら、商工会館移転に伴うテナント棟との調整や新型コロナウイルス感染症防止対策により十分な事務協議が実施できなかったことから、R2年度へ事業繰越しを行った。その間、コロナ禍後の新たな生活様式や、サテライトオフィスを見据えたシェアオフィスへの対応を設計に反映している。</p>

<b>内部評価結果</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIについては、数値目標を達成することができた。</li> <li>・お試し起業できるフィールド(チャレンジショップ)を設けて支援を強化・充実させ、起業に対するハードルを下げることで、より起業の促進につながると考える。</li> </ul>

<b>外部評価の結果</b>
<p>今後、入居者の募集等、広く周知を図りたい。</p> <p><b>【各事業共通事項】</b> あらゆる媒体を活用して、積極的に町内外に対し情報発信し、町民の方々の理解と協力を図るとともに、より一層の周知に努め、継続的な来訪や移住・定住につながるしかけづくりに取り組まれない。</p>